



長崎市市民活動センター 市民活動活性化フォーラム

協働から考える市民活動のこれから



2024.11.16 (sat.)

10:00-16:15

@Q-Lounge Nagasaki

九州で市民活動の支援に携わるひとたちはこの日長崎に集合！ゲストといっしょに学んで、話して、交流して…。明日からの活動のヒントがきつと見つかるフォーラムです。

10:00

【基調講演】

「参加したくなる活動づくりの秘訣 ～ロックフェスでの環境活動を通して～」

毎年、関係者が増えていく活動はどのように生み出されているのか？誰もが参加したくなるプログラム作り、仕組みづくりとは？その秘訣をお話しします。

講師：草野 竹史氏

NPO 法人 ezorock 代表理事 / NPO 法人北海道 NPO サポートセンター戦略担当理事

1979 年札幌生。酪農学園大学経営環境学科卒業。北海道最大級の野外ロックフェスティバル「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動を契機に、NPO 法人 ezorock を設立。その後、主に 20～30 代の若者の社会参加を推進するために、社会課題プロジェクトの創出やスタートアップ支援など幅広く展開。近年は、中間支援組織の一員として、NPO などが持つコミュニティ力やエンパワーメントに焦点を当て、NPO 法人北海道 NPO サポートセンターの戦略担当理事としても活動中。



13:30

【分科会】市民活動の活性化を目指して

テーマ 1 多様化する中間支援の担い手とそのあり方について ～中間支援業の賢い活用方法～

コーディネーター：澤 克彦氏（九州地方環境パートナーシップオフィス）

従来の市民活動支援の担い手はNPO 法人など非営利組織が中心でしたが、近年は営利企業も参入し担い手が多様化しています。ここでは中間支援のあり方や活用の仕方をするのかを考えます。



テーマ 2 市民活動団体が企業と協働を進めるポイント ～中間支援の役割～

コーディネーター：山田 健一郎氏（公益財団法人佐賀未来創造基金）

市民活動団体と企業、価値観や文化が異なる主体同士がパートナーシップを構築し、お互いにメリットのある協働のプログラムを作るなかで、中間支援はどのような役割を担うのかを考えます。



テーマ 3 市民活動を支援する人材の確保 ～本当に人材はいないのか？～

コーディネーター：中村 善輝氏（福岡市 NPO・ボランティアセンター あすみん）

人手不足の中で、中間支援を行う人材の確保にも課題となっています。人材がいらないのは本当なのか、どのような人材が必要なのか、それはどうすれば確保できるのかを考えます。



テーマ 4 市民活動の活性化を目指す行政の役割 ～各地の公設センターの状況と今後～

コーディネーター：長崎市市民協働推進室

市民活動の拠点は公設公営、公設民営など形態は各地域によって様々。それぞれの地域での活動や、行政は何を目指して、どう取り組んでいるのかを中心に意見交換を行います。



2024.11.16 (sat.) 10:00～16:15 (9:30 受付開始)

@ Q-Lounge Nagasaki (長崎市尾上町1-1 JR 長崎駅ビル・オフィス 5 階)

■対象と定員（基調講演と分科会の両方に参加する方を優先します）

【基調講演】 90名 市民活動団体、中間支援組織、行政、公共施設の職員等

【分科会】 60名 市民活動団体で活動支援に興味がある方、中間支援組織、行政、公共施設の職員等

■参加費 基調講演・分科会参加：2,000 円 / 基調講演・分科会のみ参加：各 1,000 円

■右の QR コード、またはお電話で下記の件を明記してお申込みください。

- ①所属団体 ②参加者全員の氏名（ふりがな） ③連絡先電話番号 ④基調講演の参加の有無
- ⑤分科会参加の有無（参加を希望する場合は分科会①～④のいずれかの番号）

【主催・問い合わせ】 長崎市市民活動センター e-mail: info@ncacl.net TEL: 095-807-6518

【後援】 長崎県 県民ボランティア活動支援センター

【協力】 NPO 法人 ezorock NPO 法人北海道 NPO サポートセンター 九州地方環境パートナーシップオフィス

公益財団法人 佐賀未来創造基金 福岡市 NPO・ボランティアセンター あすみん 一般社団法人 日本環境 NPO ネットワーク

